Meta「Muse Wonder」の技術概要と知財・FTO戦略の重要ポイント

技術仕様と製品ポジショニング

長時間エージェント処理と1Mコンテキストに対応



会話を跨ぐ記憶（Active Memory）

目標維持（Active Focus）

PC操作機能を搭載

役割が異なる2つの提供形態（Wonder / Full）

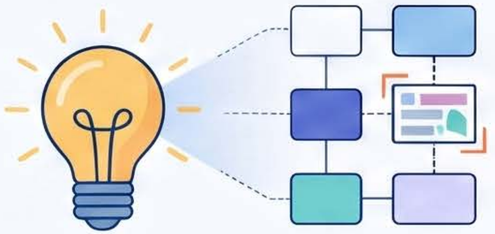




Muse Wonder		Muse Wonder Full
Meta Model API / Muse Code	提供チャネル	Muse Code (Power / Maximum) 限定
1,048,576 tokens	コンテキスト長	1M tokens
入力 $4/M, 出力 $20/M	利用価格	月額サブスク ($50 / $200)

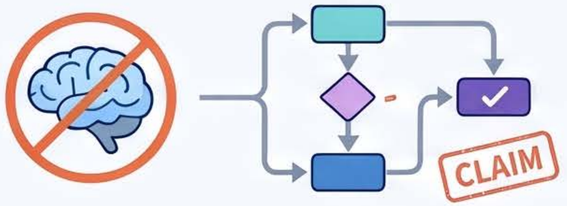
知財（IP）およびFTO戦略の要件

モデル名ではなく「機能単位」でのFTO調査が必須



Active MemoryやSub-agent等の機能単位で権利範囲や先行技術をクレームマップ化する

「AIが記憶する」等の結果志向な広すぎる特許出願の回避

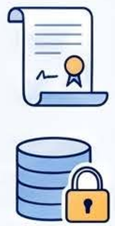


記憶の選別・更新衝突解消や不可逆操作前の権限確認など具体的処理をクレーム化

パラメータ等は非公開であり営業秘密として保護



自社開発時も特許権利化と営業秘密 (学習レシピ・評価手法) の明確な切り分けが必要



Gemini Notebook